

かみさと



学校教育目標
豊かな心もち
他のために行動できる子
やさしく かしく
たくましく

㊦んがえて行動 ㊦んなにあいさつ
㊦そい合って働く ㊦もだちを大切に

さいたま市立上里小学校 学校だより

発行者 校長 梶山 崇

〒339-0006

さいたま市岩槻区上里2丁目2番地

令和4年1月7日(金) 1月号

TEL048-794-2316

人間性に学ぶ

校長 梶山 崇

新年明けましておめでとうございます。新しい年になりました。子どもたちも新しい年を迎え、はりきっていることと思います。

さて、今年の11月ですが、アメリカ大リーグエンジェルスで活躍する大谷 翔平選手がアメリカンリーグの最優秀選手(MVP: most valuable player)を受賞しました。投手としても、野手としても素晴らしい記録を打ち立てました。プロ野球の世界では、選手は投手か投手以外(捕手、内野手、外野手など)に分かれていて、おおよそ投手と投手以外で同時に活躍する選手はたいへんめずらしいと言われていています。大谷選手は投手として球が速く、打者として多くの本塁打を打ち、加えて、足も速く、盗塁も1シーズンで26回も決めています。

私が児童に知ってほしいのは大谷選手の野球選手としての成績や野球の技能ではなく、その人間性です。

はじめに大谷選手が少年時代に父親と野球ノートを通して、父親から受けていた3つのアドバイスを紹介します。

- 大きな声を出して、元気よくプレイする。
- キャッチボールを一生懸命練習する。
- 一生懸命に走る。

今のコロナ禍では大きな声を出すことは躊躇する面がありますが、スポーツでは声を出すことは基本と言われていていますし、野球においてキャッチボールは基本中の基本です。また、走ることは苦しさも伴いますが、一生懸命走るとは心身の活力を高めると思います。特別なことをするのではなく、父親からのアドバイスを生かし、基本を忠実に守ったことで今の大谷選手があると思われま

次に大谷選手の母校の高校の監督やコーチのことばを紹介します。

- 野球選手として、すばらしかったというところじゃない。(中略)しっかり寮のそうじもして、提出物も出し、生き方自体がすばらしかった。
- 大谷選手は常に謙虚で、先輩や後輩に気を遣い、練習は一切手を抜かなかった。

このことから、練習に一生懸命に取り組んだだけでなく、学生としてやらなければならないことにもきちんと取り組んだということが分かります。このような姿勢は子どもたちだけでなく、大人の私も学びたいと思います。

最後に大谷選手は次のように言っています。「無理だと思わないことが一番大事だと思います。無理だと思ったら終わりです。」

人は多くの可能性を秘めています。子どもはなおさらたくさんの可能性を秘めています。何かを成し遂げた方の生き方を学んだり、それらを真似したりすることで、人間性を高めることも大切であると思います。

今日の始業式も子どもたちは明るく元気に登校してくれています。きっとご家庭であたたかくはぐくんでくださったことと思います。今年寅年です。虎は脚が速く、獲物を獲るときは20mくらいの距離に近づくまで機会をうかがっているということです。そこから虎のように困難には勇猛果敢に取り組み、物事には周りをよく観察し粘り強く冷静に生活できるよう子どもたちにも声かけをしていきたいと思

※この内容を書くにあたっては、新聞記事や書籍の内容を参考にしています。